

防災について考えよう！

第16回アウトドアカレッジ活動報告 (男女共同参画特別企画)

令和6年11月15日（金）開催

アウトドアの知識や経験は、防災にも役立ちます。参加者のみなさんに、防災をより身近にとらえていただき、日常的な災害対策に取り組むきっかけとするために、アウトドア×防災をテーマに、第16回アウトドアカレッジを開催しました。講師に椿さんをお迎えし、「男女共同参画の視点で考える防災」と題し講演をしていただきました。

講師：椿佳代さん

2003年名古屋市災害ボランティアコーディネーターの養成講座を修了後、活動を開始。
平成26年に「名古屋市男女平等参画推進センター・イフルなごや」で防災講座を開き、講座参加者と「エンジェルランフ」を結成。
東日本大震災、熊本地震などで被災地支援に尽力。
能登半島地震では、1月3日から現地に入り支援活動を実施。
特にトイレに関しては、避難所でトイレの使い方講座を行うなど啓発活動を行っている。



講演内容

男女共同参画の視点で考える防災

「みんなが安心できる避難所を考えよう」

1. 被災前後に男女が抱える困難を知る
2. 固定的な性別役割分担意識が強くなる傾向について考える意思決定の場に女性の参画が必要であること
3. TKB48+α (再現! 避難所のトイレ)



バケツにポリ袋をかぶせ、凝固剤や新聞紙を用いた、災害時のトイレ利用を体験。

POINT!!

- ・性別や立場などによって災害から受ける影響に違いがあることを理解する
- ・性別や立場が異なる人たちが災害対策、避難所運営に携わることが重要
- ・地域コミュニティの結束や住民同士のつながりが、災害対策に直結する
- ・トイレは一人あたり1日7回！非常用トイレ、凝固剤は必要日数分用意を！

講演の様子はYouTubeで公開しています。
ぜひご覧ください！



問い合わせ先 設楽町企画ダム対策課 0536-62-0514